



| | |
|--------------|---|
| Title | 阪大法学 64巻 1号 奥付 |
| Author(s) | |
| Citation | 阪大法学. 2014, 64(1) |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/71496 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

既 刊 目 次

第六三卷 第六号（通巻第一八八号）

論 説

被告の事業活動に基づく国際裁判管轄……………野村 美明
民事再生手続における保全処分の機能と展開（二）……………藤本 利一

民法（債権関係）の改正に関する中間試案の債権譲渡法制……………石田 剛
債務者の闇と可能性の極小化……………齋藤 由起

保証契約における契約締結後情報提供義務（二）……………齋藤 壇
国際河川委員会における国境水紛争処理制度の意義と課題（二）……………鳥谷部 壇

—アメリカ＝カナダIJCの実践を手掛かりに—鳥谷部 壇
『プラクトン』の学識法利用に関する検討（二）……………松本 和洋
—タンクレード及びドロゲーダとの比較検討を通じて—……………松本 和洋

講 演

ジーボルト賞授賞記念講演
公法学における日独学術交流の意義……………高田 篤子
記念講演会とパネリストによるコメントの紹介……………高田 篤子

既 刊 目 次

第六三卷 第六号（通巻第一八八号）

論 説

被告の事業活動に基づく国際裁判管轄……………野村 美明
民事再生手続における保全処分の機能と展開（二）……………藤本 利一

民法（債権関係）の改正に関する中間試案の債権譲渡法制……………石田 剛
債務者の闇と可能性の極小化……………齋藤 由起

保証契約における契約締結後情報提供義務（二）……………齋藤 壇
国際河川委員会における国境水紛争処理制度の意義と課題（二）

—アメリカ＝カナダIJCの実践を手掛かりに—鳥谷部 壇
『プラクトン』の学識法利用に関する検討（二）
—タンクレード及びドロゲーダとの比較検討を通じて—……………松本 和洋

講 演

ジーポルト賞授賞記念講演
公法学における日独学術交流の意義……………高田 篤子
記念講演会とパネリストによるコメントの紹介……………高田 篤子